

## 金融機関としての社会貢献・環境活動

(株)三井住友銀行

経営企画部 CSR 室 中島雅樹

三井住友銀行は、金融機関としての高い公共性を認識し、本業での活動を通じて社会の発展へ貢献することが重要と考えている。一方で、日常業務を通じた社会への貢献に加え、豊かな社会を実現するための『良き企業市民』としての活動も欠かせない。

当行においては、『良き企業市民』としての社会的責任を果たすべく、「福祉活動」「地域・国際社会」「環境活動」「文化・芸術・教育」の4つの分野を社会貢献活動の柱とし、さまざまな活動をおこなっている。その中から「地域・国際社会」および「環境活動」の事例を紹介したい。

### 国際社会発展への貢献を目指して

当行は米国ニューヨーク市を本拠とする財団「SMBC GLOBAL FOUNDATION」を運営している。同財団は、ニューヨーク市ハーレム地区の高校が主催する日本研修旅行や学校の美化活動への寄付を実施しているほか、美化活動には当行



ニューヨークで美化活動に参加

や日本総合研究所のニューヨーク拠点の社員がボランティアとして参加している。また、財団が設立された1994年から、アジア各国で学ぶ大学生5000名超を対象に奨学金を授与している。これらの功績が賞され、ニュー

ヨーク市から2009年5月18日を“SMBC Day”と定める旨の宣誓書を授与された。

日本国内においても三井住友銀行国際協力財団を運営し、開発途上地域の経済発展に資する人材の育成および国際交流を目的とし、1990年の設立当初から毎年7～8名のアジアからの留学生に奨学金を支給している。単に奨学金を拠出するだけではなく、定期的に面談や食事会を実施してコミュニケーションを図ることで、彼らの日本での生活をさまざまな面から支援している。留学生は日本国内の大学で修士・博士課程を取得した後、各方面で活躍している。また、発展途上国に関する調査機関・研究者への助成も継続しておこなっている。

1998年からは、社員参加による「三井住友銀行ボランティア基金」の活動を開始している。この基金は、有志社員の給与から毎月一律100円を集めボランティア団体などへの寄付や災害発生時



Bangladesh農村でマイクロファイナンスや職業訓練をおこなう NGO

に義援金の寄付をおこなう活動であり、現在1万2000名を超える社員が加入している。寄付先は内外で活動を展開するNPO、NGOを中心に多岐にわたっている。たとえば国際協力NGOを通じ、バングラデシュ農村部における最貧困女性を対象とした生活向上支援運動(マイクロクレジットなど)を7年にわたり継続してきたり、アフガニスタンでは地雷被害や病気の後遺症に苦しむ障がい者の方の身体機能回復のため、リハビリテーションクリニックを再建する事業を支援した。また2008年の中国四川大地震発生の際にも義援金を拠出した。

さらに、本年6月には“TABLE FOR TWO”という活動を始めた。これは、本店の社員食堂でヘルシーメニューを購入すると、1食当たり20円が開発途上国の学校給食一食分として寄付される取り組みで、飢餓や栄養不良に苦しむ開発途上国の子どもたちと生活習慣病に悩む先進国のわれわれの双方の問題が、同時に解決することを目指している。

## 世界的環境問題解決のために

環境問題への取り組みにも注力している。

2009年3月、フィリピンで開催された国際機関APO(アジア生産性機構)が主催する「第5回エコプロダクツ国際展」では、当行北山会長が準備委員長を務めるとともに展示会運営に協力した。この国際環境展示会は、アジア太平洋地域における環境ビジネスの活性化と国際競争力の強化を目指して毎年開催されており、今回もアロヨ大統領をはじめとする政府関係者や、多数の地場企



アロヨ大統領に当行の環境活動について説明する北山会長

業関係者、学生などの一般市民の来場により4日間にわたり活況を呈し、アジアにおけるエコビジネス発展の可能性を世界に強くアピールする素晴らしい機会をもたらすことができた。また、展示会に併せて開催された「環境と金融」というテーマの国際会議でも運営などで協力した。

当行グループのブラジル三井住友銀行では、2008年にプロサッカークラブ株式会社エスパルスの排出権購入支援をきっかけに、排出権が創出されたブラジルでの同U-14チームの「サッカー&エコ遠征」に尽力した。ブラジル現地において、同チーム選手への地球温暖化防止にかかわる環境教育や水力発電所の見学、地元チームとの交流試合やプロサッカーチームの試合見学に協力し、遠く南米での環境活動に貢献することができた。



エスパルスU-14チーム交流試合

## 今後の社会貢献、2つの視点

現在世界には、貧困問題をはじめ人権問題、初等教育の不足、環境問題など多くの社会的課題が山積している。当行は今後さらに社会貢献の考え方の整理を進め、企業の経営資源を活用したコミュニティへの支援・協働としての「社会貢献活動」と、社会的サービスの開発といった「社会的事業・投資」の2つの視点に立ち、これらの課題解決を進めていきたいと考えている。 ■

### ◆三井住友銀行の社会貢献活動への取り組み

<http://www.smbc.co.jp/aboutus/responsibility/community/index.html>